

都市環境デザイン会議 北陸ブロック総会

日時：2014年5月17日（土）
会場：ほんぽーと新潟市立中央図書館多目的ホール
（新潟県新潟市）
参加者：小見直樹、荘司洋文、安宅恵、稲葉実、島津勝弘、武山良三、柳原恭順、上坂達朗、木谷弘司、高田実、谷明彦、鏑隆弘、徳本修一、新田川貴之、福塚正浩、水野一郎、山岸敬広、埜正浩、川上洋司、玉森慶三、峠岡伸行、鳥越友香里、中澤俊、宮里宜雅（会員24名）

ブロック総会は、会員24名のご参加をいただき、議事については滞りなく承認されました。議事要旨は、以下のとおりです。

<議事要旨>

- ・第23期活動報告・収支報告が承認されました。
- ・第24期活動計画・収支計画が承認されました。
→開催地については、各県持ち回りで開催しており、次期はH26秋に石川、H27春に富山。
→活動費は、正会員、準会員〔一般〕、準会員〔学生〕、特別会員の会費額と会員数による荷重配分方式により配分。
- ・次期ブロック幹事は、島津勝弘氏の再任（2014.6～2016.5）が承認されました。

- ・報告事項として、代表幹事の玉森慶三氏より、7月の第24期定例総会及び10月の全国大会の開催日程について報告されました。
定例総会及び全国大会には、北陸ブロックから参加費の支援をすることが承認されましたので、より多くの会員にご参加いただきたいと思います。
- ・JUDIプロジェクト「自転車の似合うまちづくりー白山市鶴来における実験的試みー」の活動内容及び収支報告について、プロジェクト代表の谷明彦氏より報告されました。
- ・上記以外に、今期、新田川貴之氏、木谷弘司氏、宮里宜雅氏（準会員）の3名が入会されたことにより、北陸ブロック会員は、現在45名（準会員3名含む）となったことを報告しました。



ブロック総会の様子（正面右から、ブロック幹事 島津氏、事務局 埜氏）

都市環境デザイン会議 in 新潟 2014

日時：2014年5月17日（土）～18日（日）
会場：ほんぽーと新潟市立中央図書館ほか
（新潟県新潟市、長岡市）
参加者：会員24名、一般参加者10名

■現地見学(その1)発酵のまち「新潟市沼垂」

現地見学会（その1）として、2013年度にグッドデザイン賞を受賞した『沼垂のまち小路めぐり』を片手に、池田博俊氏（新潟市都市政策部長）のご案内により沼垂のまちなみを見学しました。

大正14年築のもと床屋さんの建物や国登録文化財の「佐野商店」、小松原醸造場跡（板塀の道）や今代司酒造(株)など、小路めぐりを堪能しました。



沼垂定住記念碑



大正14年築 もと床屋建物



国登録文化財の「佐野商店」



小松原醸造場跡（板塀の道）

今代司酒造(株)では、九代目蔵元の山本平吉氏に酒造りや歴史の話を交えながら丁寧にご案内いただき、試飲コーナーではこのあとにフォーラムが控えていることも忘れ楽しみました。



今代司酒造(株)外観



今代司酒造(株)内観①



今代司酒造(株)内観②



お燗酒自販機

—主な小路(26本)の名前の由来と魅力—

- ◎百川小路…明治初めの絵図には、小路の角に百川徳蔵の屋敷が記されていることから、その姓が由来と思われる。
 - ◎朗小路…明治初期の地図にはニケン小路とある。昭和の初期に朗小路と改称された。
 - ◎おかめ小路…「おかめ」という美人の娘が住んでいたことから、この名で呼ばれたという説がある。
- ※2013年度グッドデザイン賞受賞『自分の町の楽しみ方・まちあるきのしかけ [新潟の町・小路めぐり]』のデザインには、ブロック幹事 島津勝弘氏も関わっておられます。

■ フォーラム「食の文化とまちづくり」

- ◆発表1「新潟の都市構造と沼垂」
池田 博俊氏 (新潟市都市政策部長)
- ◆発表2「特色ある地場産業と地域のつながり」
堀川 万洲夫氏 (堀川醸造(株)代表取締役)
- ◆発表3「食を活かしたまちづくり」
玉森 慶三氏 (株)ライトスタッフ代表取締役 (JUDI会員)

フォーラムは、新潟メンバーの小見直樹氏の司会により進行されました。三者三様「食と文化とまちづくり」に関する様々な視点による発表内容でした。

まずは、見学会(その1)の案内人も務めていただいた池田博俊氏が、沼垂町の移転の変遷やまちの構成について、過去と現在の写真をもとに説明されました。池田氏は「まちづくり」の時代は終わった。これからは「まちづかい」だ。まちなかの宝を見つけ、それを磨き、物語性を持たせ、新たな価値を

付加する取り組みこそが「まちづかい」の真髄。そしてそれが「まち歩き」というかたちが最大の効果をもたらしてくれると実感しているとのことでした。



池田博俊氏のご発表

続いて、堀川万洲夫氏(堀川醸造(株)代表取締役)からは、なぜ沼垂・栗の木川沿いに酒・味噌・醤油・漬物・納豆等の蔵ができたのか、醸造業8社と有志が「発酵食品の街・沼垂」を立ち上げの経緯やオリジナル商品の開発やイベントなどを行っていること、発酵食品と健康づくりなどについて説明されました。堀川氏はおっしゃいました、皆さんは誤解しています「塩分は健康を維持する働き者です」。



堀川万洲夫氏のご発表

最後には、玉森慶三氏(株)ライトスタッフ代表取締役・JUDI会員)が、福井市の中央3丁目「浜町界限」を観光客誘客のための重要なゾーンとして位置づけ、「食」を中心とした誘客施設を整備していくプロジェクトの今後の取り組みなどについて説明されました。それとあわせ、この春からは、浜町を舞台にした「食」のイベントとして、浜町の老舗料亭や割烹に働きかけ、食と文化にさらに磨きをかけた「浜町ブランド」をつくり出し、しかけていっているとのことでした。



玉森慶三氏のご発表

■ 座談会「食文化とまちづくりの今後」

- パネリスト
池田 博俊氏・堀川 万洲夫氏・玉森 慶三氏
- コーディネーター
鏑 隆弘氏 (金沢美術工芸大学教授 (JUDI 会員))



座談会「食文化とまちづくりの今後」の様子

座談会は「食文化とまちづくりの今後」と題し、フォーラムで発表していただいた3名をパネリストにコーディネーターは鏗隆弘先生(金沢美術工芸大学教授・JUDI会員)が務められました。

＜座談会での主な意見＞

- ・江戸時代にそこに住んでいた人や職業の名前が「小路名」につけられ、350年間受け継がれて住んでいる人は今でも「小路名」で呼んでいる。堀自体はなくなっても堀の名前が通りの名前になっているところは現在も使われている。
- ・栗の木川側が表で、川を利用した水運のみ。道は大八車や馬だけが通れるほどのものしかなかったので、物資輸送は川を利用する川の文化。
- ・醸造業者だけしか手に入らないものに醤油の火入れ(熱殺菌)をしていないものがある。最高においしいが、菌は日々変化するので販売はできないし、していない。味噌では桶の底に溜まるたまりがあり、そのたまりで漬けた蕪づけも非常においしいが販売はしていない。
- ・木桶は食品衛生上も使いつらくなっており、現在は展示物として見せていることが多い。味噌や醤油の桶は木に“におい”が染み込んでしまっていて臭いため別のものに再利用はできない。
- ・新潟の食でいうと「えだまめ」は世界一。海外旅行者アンケートでも「えだまめ」は2位。それ以外に茄子の種類が豊富で「なすづけ」は最高。
- ・福井のへしこは、いか、はたはた、いわし、さば等の糠漬けで、保存するために生まれた手法。
- ・糠漬けは北陸の6~8月の蒸し暑い気候とまちなかに流れる水により発達した食文化。



左からコーディネーターの鏗先生、パネリストの池田氏、堀川氏、玉森氏

■ 懇親会

会場：大佐渡たむら

参加者：会員22名、一般参加者7名

恒例の懇親会では、JUDIメンバー22名とフォーラムで発表、座談会ではパネリストをしていただいた池田部長、堀川社長に加え、一般参加者5名にもご参加いただき、『沼垂蔵元の日本酒、発酵食品の味わい』ということで、新潟の地酒や料理を楽しみながら大いに盛り上がりました。復活した一人一言コーナーでは、会員メンバーをはじめ一般参加者も含め全員が、面白おかしく近況を報告しました。

また、2014年秋開催のフォーラムは、10/11(土)~12(日)に石川県内において、テーマを「庭園」として開催することを決定し、具体的な開催場所及び内容についての検討をJUDI石川メンバーにお願いしました。



大佐渡たむらでの懇親会の様子



水野一郎先生の乾杯でスタート



谷明彦先生の近況報告の様子



川上洋司先生の近況報告の様子



稲葉実氏の近況報告の様子



ゲスト池田博俊氏の手締め



盛り上がる二次会の様子



徳本修一氏の締めにて解散

■ 現地見学(その2)醸造のまち「長岡市撰田屋」

日時：5月18日(日) 10:00~12:00

場所：新潟県長岡市撰田屋地区

参加者：小見直樹、荘司洋文、安宅恵、稲葉実、柳原恭順、上坂達朗、木谷弘司、高田実、谷明彦、鏗隆弘、徳本修一、新田川貴之、福塚正浩、水野一郎、山岸敬広、埴正浩、鳥越友香里、中澤俊、宮里宜雅(会員24名) 一般参加者5名

現地見学会(その2)では、長岡造形大学の渡邊誠介教授に加え、NPO まちなか考房の坂田晃秀さん、長岡技術科学大学の樋口秀准教授のご案内により、越のむらさき⇒吉乃川酒造(株)・瓢亭⇒機那サフラン酒本舗・鋺絵蔵⇒秋山孝ポスター美術館(旧北越銀行)の順で、見学しました。

吉乃川酒造・瓢亭には、昔の酒蔵用具や、昔の酒蔵づくりの様子の写真などが展示されており、中村孝専務取締役からまちの歴史やこれまでのまちづくりでの取り組みなどのご説明をいただくとともに、昨日に引き続き試飲も楽しみました。

サフラン酒本舗・鍍絵蔵は、薬味酒で一世を風靡した初代吉澤仁太郎が築いた建物で、青龍や牛など17種類の動物や9種類の植物が極彩色で描かれています。檜の一枚板を使った長い廊下と梁が見事な離れの内部見学もさせていただきました。

秋山孝ポスター美術館は、大正14年に建設された歴史的建造物です。度重なる地震などにより老朽化したものを修復し、美術館に生まれ変わりました。

香りほのかに、どこか懐かしい風景の摂田屋には、まちなかの所々にワークショップで制作した“教え樽（おしえたる）”や“お知らせ柱（おしらせちゆう）”などが設置されていました。



瓢亭内部の様子



機那サフラン酒本舗母屋



鍍絵蔵正面外観



鍍絵蔵側面外観



機那サフラン酒本舗離れ外観



機那サフラン酒本舗離れ内観



写真館を改装「ミヤチヨカ カル」



案内サイン“おしえたる”



「醸造の町 摂田屋」の散策絵図



煉瓦製煙突のある越のむらさき



道しるべ地藏



吉乃川酒蔵資料館・瓢亭



秋山孝ポスター美術館外観



秋山孝ポスター美術館内観

●北陸ブロックの今後の活動予定

◇都市環境デザイン会議 第24期定例総会 in 東京

日時：2014年7月26日（土）13時30分～
会場：日本大学駿河台キャンパス理工学部5号館

◇都市環境デザイン会議 全国大会 in 札幌

日時：2014年10月3日（金）～5日（日）
会場：札幌市内

◇都市環境デザイン会議 in 石川

日時：2014年10月11日（土）～12日（日）
会場：石川県内

◇都市環境デザイン会議 in 富山

日時：2015年春頃 会場：富山県

—編集後記—

今回のJUDlin新潟を開催するにあたりまして、新潟会員の皆様には大変ご尽力いただき、誠にありがとうございました。ご参加いただいた皆様も、お疲れ様でした。

今回は、北陸特有の気候や風土が育んだ共通の“食”である「発酵食品」をテーマとしたフォーラムと見学会でしたので、ご参加いただいた皆様も大変興味深く、存分に楽しんでいただけたのではないのでしょうか？

さて、次回は石川開催、テーマは「庭園」です。どんな趣向を凝らした内容になるか、今から楽しみです。詳細が決まり次第ご案内いたしますので、奮ってご参加ください。よろしくお願いたします。

【お問合せ先】

都市環境デザイン会議北陸ブロック

幹事 ● 島津勝弘（島津環境グラフィックス）

事務局 ● 埴 正浩・高永智恵（㈱日本海コンサルタント）

TEL 076-243-8281 / FAX 076-243-8309

E-mail m-rachi@nihonkai.co.jp

JUDI 北陸ブロックホームページ

<http://www.judi-hokuriku.gr.jp/>

JUDI 北陸ブロック Facebook ページ

<http://www.facebook.com/judi.hokuriku>